

# 市数研だより

令和6年11月20日発行 NO. 5 熊本市中学校数学教育研究会

## 1. あいさつ

市数研会長（藤園中学校 東校長先生）

教員採用試験において、いわゆる定数よりも多く募集が集まったという話を聞き、ほっとしたところです。数学の部分に目を向けると、少人数授業や、チームティーチングの関係もあり、多くの先生方が数学の授業に関わってくれていると思います。日々新しい話題を子ども達に提供していくのも大切だと思いますので、このような機会に勉強して頂ければと思います。今回は令和8年度に熊本市で行われる県大会の研究テーマについて研究部長から説明があり、また授業者・助言者の先生方の紹介もあります。そして教育センターの武田先生からのICT講座もあり、私自身もとても楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。



## 2. 令和8年度 第79回熊本県中学校数学教育研究大会に向けて

(1) 令和8年度県大会 研究テーマ

市数研研究部長 城南中学校 椎葉先生

数学的な見方・考え方を働かせ、深い学びに向かう数学授業

～個別最適な学びと協働的な学びの充実を通して～

これまでの県大会の研究テーマを踏まえた上で、今の時代に求められているものを整理すると、令和3年に中央教育審議会が出したイメージ図では、主体的、対話的で深い学びに加えて、「個別最適な学び」「協働的な学び」を大切にしていきたいと思います、と付け加えられました。この2つの学びを大切にしていくことで、主体的、対話的で深い学びに繋がっていくと思い、令和8年度の県大会にむけた研究テーマを考えました。（研究テーマの詳細は別紙で、椎葉先生が作られたスライドを載せています。）



(2) 県大会授業者・助言者紹介



授業者 丸山まどか先生(河内中学校)  
助言者 牧田 朋子先生(河内中学校)



松本 瞬 先生(井芹中学校)  
黒木 翔平先生(西原中学校)



古場 脩平先生(三和中学校)  
工藤龍之介先生(天明中学校)



授業者 吉田 弘生先生(湖東中学校)  
助言者 紅林 周佑先生(西山中学校)



平田 宜江先生(帯山中学校)  
大木 辰男先生(帯山中学校)



船山 英朗先生(附属中学校)  
濱 祐一郎先生(楠中学校)

### 3. ICT 講座

熊本市教育センター 武田 裕二指導主事

今日は ICT 講座ということで、僕が 30 年前に出会った GC というソフトを紹介します。このソフトに出会ってから図形指導が好きになりました。

まず ICT 活用についてですが、子どものために使う、ということが大前提だと思います。

よく先生方の悩みで、生徒たちの同士の実態に差があり授業を進めにくい、というのを聞きます。そんな時にもタブレットは活用できると思います。理解ができている子(a 層)、なんとなく理解をしている子(b 層)、理解が難しい子(c 層)としたときに、出水中学校の津田先生が a 層と c 層の間で対話を生む授業をしてくれました。ロイロノートを活用し、課題に対して a 層が青のカード、b 層が黄色、c 層がピンクのカードを“せーの！”で出します。青が多かったら課題は易しいし、ピンクが多かったら難しいということです。クラスの実態が分かります。青の子はスラスラ解いていきますが、ピンクの子には何が分からないか書かせることで、悩みを共有することができます。青の子がピンクの子にヒントを出します。このやり方は先生がヒントを出すのではなく、出来た子がヒントをつくるという取り組みなので、今でも小学校の先生方に紹介しています。



次にこの QR コードを読み取ってください。

(下の QR コードで実際に読み取れますのでやってみてください🎵)

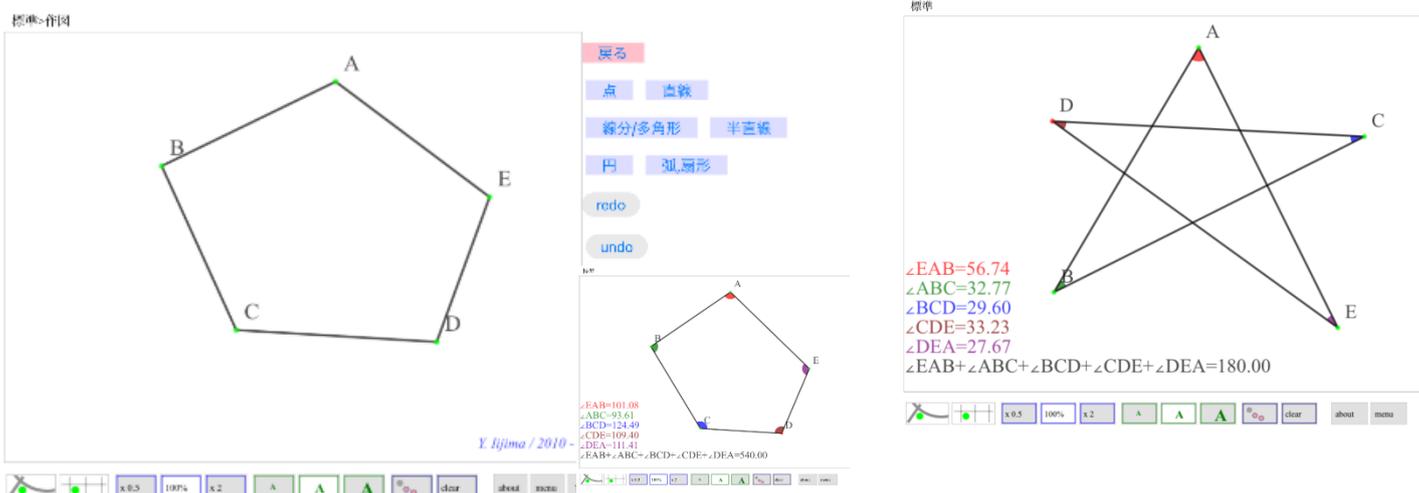


←上の QR コードは白紙の状態の GC サイトにとびます。

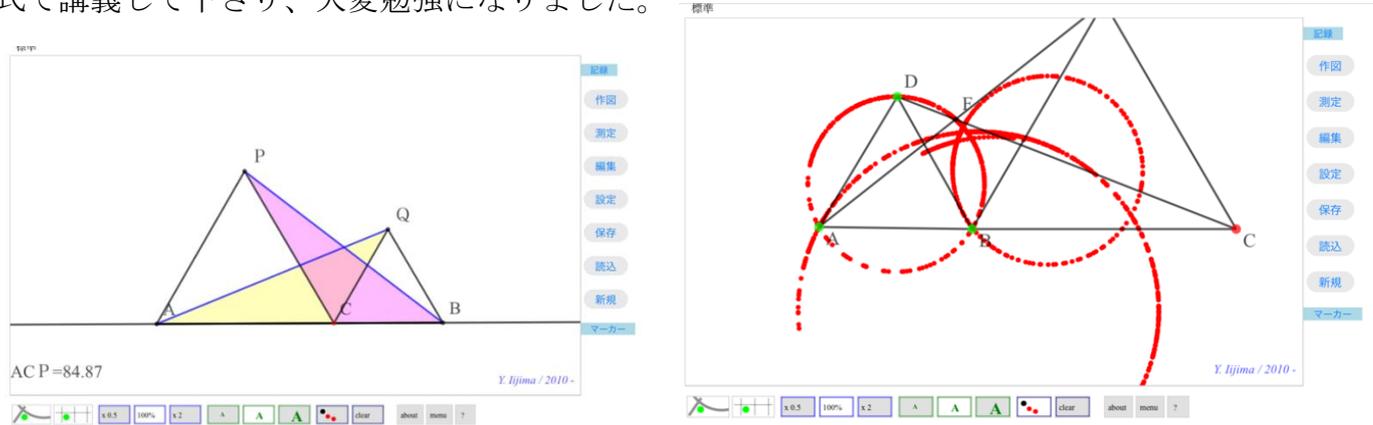


←下の QR コードは色々な図形が載っている GC サイトにとびます。

QRコードを読み取ると、GCというサイトにいきます。自分で点を取り、自由に多角形が作れました。今回は武田先生の指示のもと五角形に挑戦しました。五角形を作ると、内角の和も出すことができます。点は自分で動かすことができるので、五角形から星型五角形を作りました。



次に下のようなページに移り、面積に色を付けたり、線分と線分の交点の軌跡を調べたりと実践形式で講義して下さり、大変勉強になりました。



学校に出向き、GCの使い方の研修を行ってくださるそうなので、興味のある方やもっと詳しく聞いてみたい方は武田先生に連絡してみてください。

**4. 閉会** 市数研副会長（白川中学校 松永校長先生）

私が新採で桜木中学校に赴任したときに、武田先生の影響を受けてノート型パソコンを初めて買いました。その時にGCを紹介してもらいました。武田先生の親子ピラミッドの授業を見て、「参考にしながら授業をしていたなあ」というのを思い出しました。久しぶりにGCを見ましたが、授業で使うと大変面白くなるだろうと思ったところです。

県大会の授業者の先生、助言者の先生、本当にお世話になります。僕も九州大会の授業をしたことがあります。なかなかうまくできず、大変でした。しかし終わってみると授業を1つ作る大変さも分かったし、もっと勉強しとけば子ども達も違う方向性で教えることが出来たかもしれない、という思いもあります。本当に大変だと思いますが、終わった後に必ずやって良かったと思います。まだ2年ありますが、その中でみんなと授業を考えていけたらと思います。



#### 4. お知らせ

●次のページに県大会の研究テーマについて椎葉先生がまとめられたスライドを載せています。

#### ●12月の研修会(忘年会)のお知らせ

日時：12月13日(金)18時30分～

場所：紅蘭亭(下通り本店)

講師：犬童隆雄先生(東町中学校教頭)

会費：5,000円



各学校の数学科主任の先生方へ

12月研修会の出欠の有無がまだの学校は、QRコードを読み取ってお知らせ下さい。

切11月27日(水)

#### ●1月の定例会のお知らせ

日時：1月16日(木)18時30分～

場所：藤園中学校

ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

[Hoshida.yuri@kumamoto-kmm.ed.jp](mailto:Hoshida.yuri@kumamoto-kmm.ed.jp)

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から1名以上の参加をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。  
文責 錦ヶ丘中学校 星田友里

1

# 令和8年度県大会に向けた研究テーマ

研究部長  
熊本市立城南中学校 椎葉将大

2

# 本日の流れ

- これまでの研究テーマ
- 今の時代に求められていること
- 県大会に向けた研究テーマ
- 研究テーマについて

3

# 1 これまでの研究テーマ

H24 熊本市・江南中  
数学的活動を生かし、数学的な思考力・表現力を育てる指導のあり方

H26 熊本市・附属中  
数学的活動を生かし、数学的な思考力・表現力を育てる指導のあり方  
～生徒一人一人の学びの質を高める指導の工夫

**数学的活動**

4

# 1 これまでの研究テーマ

H29 熊本市・白川中  
数学へより深くアプローチする生徒の育成をめざして  
～『アクティブラーニング』の視点に立った授業展開の工夫～

**アクティブラーニング**

5

# 1 これまでの研究テーマ

R2 熊本市・白川中  
数学的な見方・考え方を働かせ、深い学びに向かう生徒の育成

R5 熊本市・附属中  
数学的な見方・考え方を働かせ、深い学びに向かう 数学授業  
～『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業展開の工夫～

**数学的な見方・考え方**

6

# 1 これまでの研究テーマ

**数学的活動**

**アクティブラーニング**

**数学的な見方・考え方**

7

# 2 今の時代に求められること

知識・技能  
思考力・判断力・表現力  
学びに向かう力・人間性等

数学的な見方・考え方

主体的・対話的で深い学び

8

# 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 (イメージ)

9

# 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 (イメージ)

主体的な学び  
対話的な学び  
深い学び

主体的・対話的で深い学び

10

# 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 (イメージ)

11

# 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 (イメージ)

12

# 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 (イメージ)

13

# 3 県大会に向けた研究テーマ

数学的な見方・考え方を働かせ、  
深い学びに向かう数学授業

～個別最適な学びと協働的な学びの充実を通して～

14

# 4 研究テーマについて

数学的な見方・考え方を働かせ、  
**深い学び**に向かう数学授業

数学に関わる事象や、日常生活や社会に関わる事象について、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して、新しい概念を形成したり、よりよい方法を見いだしたりするなど、新たな知識、技能を身に付けてそれらを結合し、思考、態度が変容すること。  
【中学校指導要領（平成29年告示）解説（数学編）】

15

# 4 研究テーマについて

参考にした書籍

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して  
奈須正裕/伏木久始

16

# 4 研究テーマについて

主体的・対話的で深い学び

受動的・一方的で浅い学び

17

# 4 研究テーマについて

個別最適な学び

自立した学習者を育てる  
学習に必要な環境を整える  
学習する意義が分かるように単元の学習計画を知らせる

18

# 4 研究テーマについて

協働的な学び

学習が孤立しないように  
構造的な板書や意図的な指名  
知識構成型ジグソー法

19

# 4 研究テーマについて

一体的に充実させるために

単元の中の2割程度、子どもが学びたいことを学ぶ時間を設定してみる

20

# 4 研究テーマについて

一体的に充実させるために

個人としての限界まで課題に向き合う

周りの人と話す必要感が出る

新たな気づきをもとに、再度個人で考える

21

# 4 研究テーマについて

今後の課題

数学科としてどう考えていこうか

県大会の授業として、どのように実現できるか